

2020年12月10日 世界人権デー／オンラインセミナー「フィリピン－麻薬撲滅戦争とコロナ禍が隠れみのにされる超法規的処刑」

コロナ禍でも続く環境・人権擁護活動に対する 弾圧と超法規的処刑



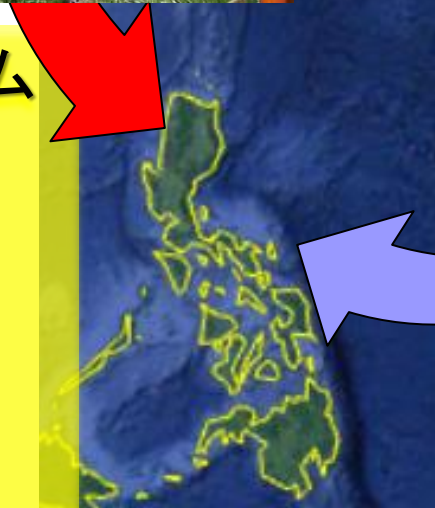
FoE Japan委託研究員 波多江 秀枝

E-mail: hatae@foejapan.org

フィリピンでの日本の投資や開発協力 人権侵害



- ボホール灌漑
 - 国際協力機構 (JICA) 円借款・無償協力



■ サンロケ多目的ダム

- 丸紅・関電出資
- 国際協力銀行 (JBIC) 融資
(灌漑部門へのJICA
円借款は見送り)

アロヨ政権下の超法規的処刑





THE
ON of
UE D
NO

COMPENSATE THE LOSS
OF INCOME OF GOLD PANNER
AND PROVIDE THEM
SUSTAINABLE



“APO” Jose Doton (62)

サンロケダム／灌漑部門に反対してきた農民組織の代表

2006年5月16日 午前10時半

帰宅途中、自分の田んぼ沿いで、

オートバイに乗った2人組の男に射殺された。

彼の農民組織は「新人民軍のシンパ」という

レッテルを貼られていた。



Victor Olayvar (41)

**ボホールで農民運動を
支援してきた活動家**

2006年9月7日 午前7:25

**農民組織との会合後に帰宅途
中、3人組の男に射殺。**

**彼のことを「新人民軍の前衛」
であると記載したチラシがボ
ホール州内でばら撒かれる
など、レッテル貼りを受けて
いた。**

Boholanos denounced the shooting, which came as a big blow to the advancing peace situation in the province.

The Office of the Presidential Adviser on Peace Process (OPAPP) recently decided to hold two days of the National Peace Month celebration

写真: HUMABOL (ボホール農民連合) Facebookより

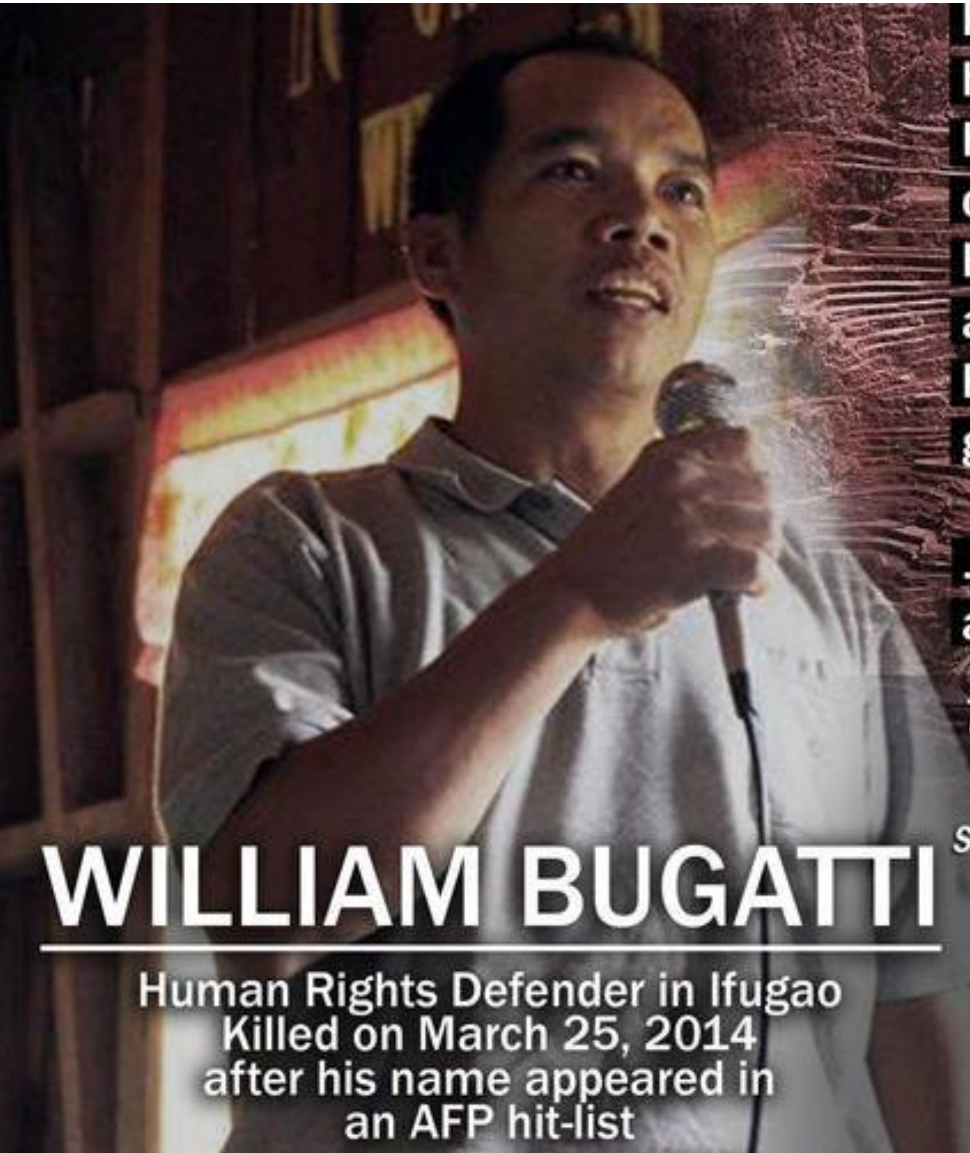
アキノ政権下の超法規的処刑

William Bugatti

先住民族イフガオの
人権活動家

2014年3月25日 夜7時
帰宅途中に射殺。

2012年10月に判明した軍
の「ターゲット・リスト」で
は、「新人民軍のメンバー
・支援者」として記載され
ていた。

A portrait of William Bugatti, a man with short dark hair, wearing a light-colored polo shirt. He is holding a microphone in his right hand and looking slightly upwards and to the right. The background is dark and out of focus.

WILLIAM BUGATTI

Human Rights Defender in Ifugao
Killed on March 25, 2014
after his name appeared in
an AFP hit-list

写真: コルディリエル民族連合 (CPA) Facebook より

フィリピンでの日本の投資や開発協力 人権侵害



■ イサベラ・バイオエタノール製造・電力供給

□ 伊藤忠・日揮出資
(操業後に2社は撤退)

ドゥテルテ政権下の超法規的処刑



Ariel Diaz

イサベラ州農民組織の代表

2016年9月7日 朝8時

農地で3人に射殺。

**彼の農民組織は「新人民軍
の支援者」というレッテル
を貼られていた。**

フィリピンでの日本の投資や開発協力 人権侵害



- バナナ生産
 - 住友商事(撤退)等



■ ニッケル開発

- 住友金属鉱山、三井物産、双日、大平洋金属出資
- JBIC融資、日本貿易保険(NEXI)付保





Veronico Delamente (27)
ニッケル鉱山開発に反対してきた
先住民族マヌワのリーダー

2017年1月17日 12時半過ぎ

**中国企業の鉱山拡張計画に関するフィリピン先住
民族国家委員会(NCIP)の会合に出席するところを
オートバイに乗った2人組の男に射殺。**



Danny Boy Bautista (31)
**スミフルバナナ労働組合の
組合員**

**2018年10月31日 夕方
町の市場で射殺。**

フィリピンの人権状況

ドゥテルテ政権下での人権状況

(2016年7月～2019年12月までのデータ

by 比人権団体カラパタン)

超法規的処刑=293名、超法規的処刑未遂=429名

不当逮捕・勾留=768名、不当逮捕(勾留なし)=2,516名

●2020年6月 国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)報告

・広範な人権侵害と免責を指摘

= 違法薬物戦争の犠牲者 公式統計 8,663人

→実際には3倍との見方も

= 人権擁護者、法律専門職、ジャーナリスト、
労働組合関係者などの殺害 少なくとも 248名 (2015-19)

←「red-tagging」現象=市民社会／表現の自由の深刻な脅威に
人権擁護者やNGOを含む個人や団体に
共産主義者やテロリストのレッテル貼り

新型コロナ禍の下でもつづく 人権・環境活動家への人権侵害

- 超法規的処刑
- 不当逮捕・勾留
- 軍・警察による暴力・強制排除
- 脅迫行為
- テロリストのレッテル貼り



写真: WDC-Boholより



写真: Kalikasan-PNE Facebookより



救援物資の支援活動等での人権侵害



マニラ近郊

写真: フィリピン農業労働者連合 (UMA) より (4月19日)

写真: カガヤンバレー農民組織 (Danggayan Cagayan Valley) Facebookより

つづく活動家への脅迫・嫌がらせ ・・・そして、超法規的処刑



Marlon Maldos (25)

ボホール州農民のカルチュラル・グループのリーダー

2020年3月17日 11時頃 連れ去られ、路上で射殺。

写真: ボホール女性開発センター (WDC-Bohol)

つづく活動家への脅迫・嫌がらせ ・・・そして、超法規的処刑

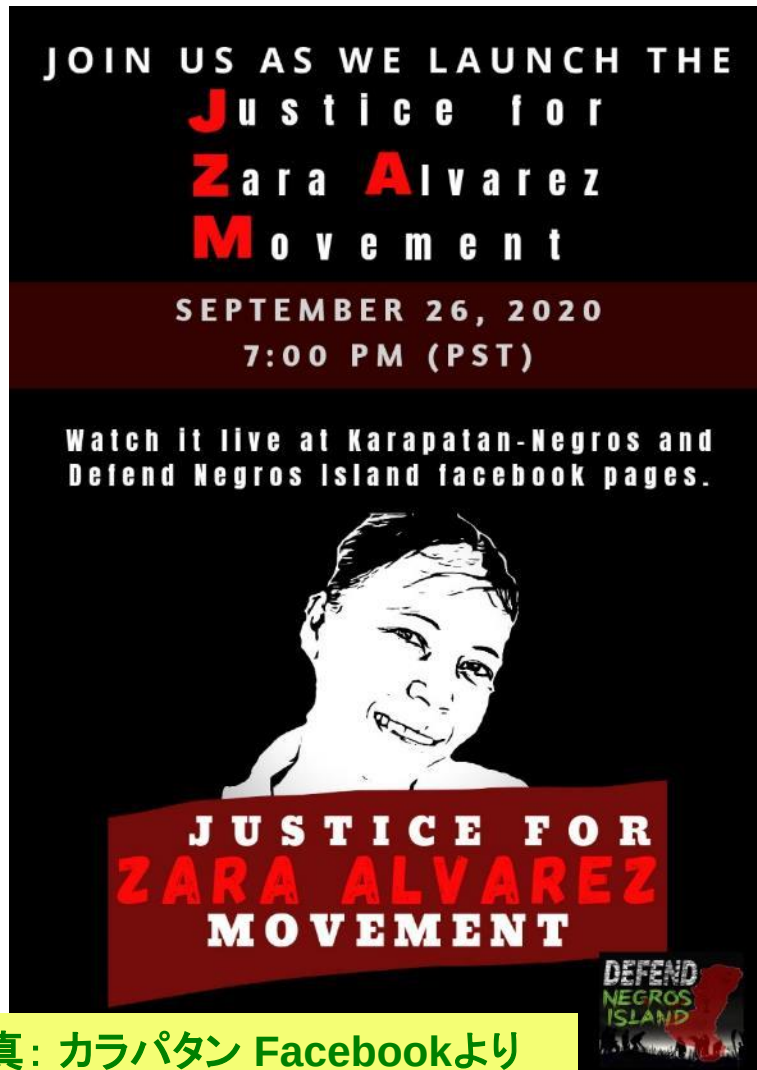


写真: カラパタン Facebookより



Zara Alvarez (39)

ネグロスの人権活動家

2020年8月17日 夜8時頃
路上で射殺。

新・反テロ法の制定



- 2/26 上院で可決
- 6/1 大統領が下院に書簡「Urgent」
- 6/3 下院で可決
- 6/9～ 大統領承認待ち（30日間は拒否権発動の権利あり）
- 7/3 大統領署名、成立（15日後に発効）
- 新しい反テロ法（Anti-Terrorism Act）（2020年）
 - ←人間の安全保障法（2007年）
 - ・テロの定義を拡大
 - ・言論活動などによる他者の誘導など、禁錮12年
 - ・有罪の最高刑は終身刑（従来禁錮40年）
 - ・令状なしで拘留可能な期間が24日間に（従来3日） etc.



写真: フィリピン農民運動(KMP) Facebookより



少なくとも37の差し止め請求が
最高裁に提出されている



写真: KODAO Production Facebookより

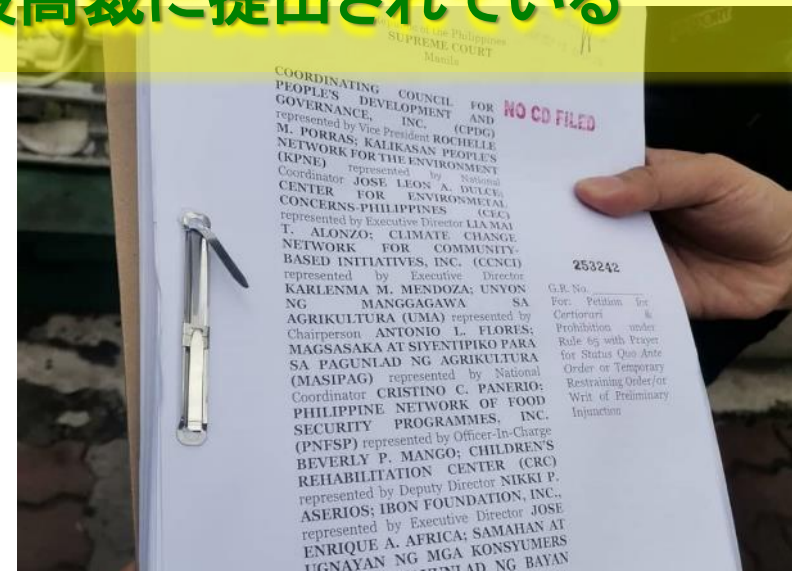


写真: Kalikasan-PNE Facebookより



- 世界12月号から連載開始
「ネグロスからの手紙」
——虐殺と弾圧の島で
by クラリッサ・シングソン
(人権アクティビスト)

訳・構成＝木村英昭・勅使川原香世子

写真: 勅使河原さんのFacebookより